

ビオトープだより第17号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。


 特定非営利活動法人
 日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 世界と比較した日本の再生可能エネルギーの割合 副会長・主席 BA 野澤 日出夫

日本の再生可能エネルギーの割合は約20.8%だとわかりましたが、世界と比べた際はどうでしょうか。先進的な取り組みを行うヨーロッパの国々を中心に比較した表が以下となります。なぜこれほど大きな格差が生じているのでしょうか？

主要国の発電量に占める再生可能エネルギーの割合（2020年）

国名	再エネ割合
オーストリア	79.20%
デンマーク	78.20%
スウェーデン	68.60%
ポルトガル	58.80%
イタリア	43.10%
ドイツ	44.80%
イギリス	42.20%
スペイン	43.40%
フランス	23.30%
中国	27.40%
日本	20.80%

参考：Agora Energiewende 「The European Power Sector in 2020」

ヨーロッパ主要国や中国と比較してみても、日本の再生可能エネルギーの割合はまだまだ少なく、大手電力会社各社は現在なお化石及び原子力エネルギーに固執して発電を行おうとしています。将来的な目標についても同様ますます大きな格差が生まれており、日本は2030年までに再生可能エネルギーの発電割合を22%～24%に引き上げることが目標なのに対し、フランスでは同じく2030年に40%、ドイツでは2035年に60%へ引き上げる目標を掲げており、日本の対応がいかに遅れを取っているのがわかります。

* 2022年3月4日ドイツ連邦経済・気候保護局及び環境・自然保護・原子力安全省は、再生可能エネルギー法の改正案を公表した。
 2030年総電力量に占める目標割合を80%
 2035年ほぼ100%（カーボンニュートラル）
 （メルケル首相は交代したが施策は全くブレない）

旅する蝶 『アサギマダラ』の不思議

1. アサギマダラの名前のいわれは、浅葱色。

浅葱色（浅葱色）とは蓼藍（蓼藍）で染めた青緑色の事です。
薄い葱の葉にちなんでいます。平安時代から使われていました。

あさぎいろ
浅葱色

2. アサギマダラの生態：幼虫 → さなぎ → 成虫（一生は4～6ヶ月くらい）



3. アサギマダラは『旅するチョウ』とも言われ 2000 km 移動することもあります。なぜ、そんなに移動するの？

20℃のところを求めて、春は北上、秋に南下します。
(和歌山～香港の調査報告あり)



4. アサギマダラの移動はどのようにして調べているの？

マーキング調査で調べています。翅にマーキングをして放し、どこかで再捕獲されることによって、移動距離やどれくらいの日数でそこまで移動したかを知ることができます。

5. 世界一の飛行昆虫？

アサギマダラ 2000 km ， オオカバマダラ 4000 km ， ウスバキトンボ 7000 km

6. アサギマダラは なぜフジバカマに来るの？

アサギマダラのオスがフジバカマの「ピロリジジンアルカロイド」を防禦物質へ転用

7. 多くのアサギマダラが飛来する大分県姫島。

スナビキソウ（5～8月）

フジバカマ（8～10月）

大分県 姫島 アサギマダラの乱舞

